





新年度予算

水道事業に今年度二億円

農業共済事業も町移管

四月からこの一年間、町政運営の基本となる新年度予算が決まりました。一般会計は、今年度から始まる水道増設工事に対する負担金、南部保育所の建設など新規の大事業が次々に予定されていることから前年度を三億八千万円あまり上回る十四億三千二百二十五万五千円の大型予算です。予算の特色としては、水道、保育所、プールの建設事業がそれぞれ基金を取りくずして行われること、災害復旧事業の完了による国、県支出金が大幅に減ることなどもあって、近年になく自主財源の割合が高くなっていることです。このほか農業共済事業が町に移管され事業は特別会計で区分して経理されるもの、町行政の一つとして新しく加わった点も大きな特色の一つです。

南部保育所、三中プールを建設



保育所への道も完成した

町民1人当りで見ると

行政費用(予算額) 208,142円

Table with 2 columns: Category and Amount. Includes items like 教育費, 公債費, 農林水産費, etc.

町税収入全体の一五割 新年度予算を歳入、歳出別に表わしたのが表紙のグラフです。歳入の繰入金、歳出の諸支出金のそれぞれ大きなウェイトは、三つの新規の建設事業に対する基金

会長に小熊孫一氏

農業委員決まる

四月四日、改選後初の町農業委員会総会が開かれ、会長に小熊孫一氏(再選、六五歳)会長代理に井村健二氏(五七歳)が選ばれました。任期満了による町農業委員会委員のうち公選による十人の委員を選出選挙は、三月十六日に告示されましたが、立候補者数が定数と同じだったため、投票を行わないで全員の当選が決まっています。

片桐公民館長再任

自治功労者表彰

三月十二日、役場分館で五十四年度自治功労者表彰式が行われ、各氏が表彰を受けられました。(順不同) 特別功労表彰 小熊津栄門、松浦興喜知、小林太左衛門、榊澤与伍栄、松浦伊智郎の各氏(町議会議員として十二年以上在職し、功労顕著) 功労表彰 故小熊佐太夫氏(町職員として二十五年以上在職し功労顕著) ■記念品贈呈 元井藤作氏(県議長会副会長として全国表彰)

片桐公民館長再任

公民館長の片桐英治氏(新保、七三歳)が再任されました。同氏は五十一年四月に就任されて以来今回で三期目となります。

九億六千万円で契約

水道増設工事今月着工

安心して頼れる水道。この願いを果たす水道の増設工事がいよいよ始まります。総工費九億六千万円という町予算の一年度分にも相当する大事業です。予定では十七日に起工式を行い、工期は一年半と見込まれていますので、工事が順調に進めば明年九月末日には竣工、その後は信濃川を水源とする。新しい水が各家庭のじや口からほとほと湧いてくるようになります。工事は、土木配管工事を六億八千万円で株式会社植木組、その他の施設関係工事を二億八千万円で水道機工株式会社それぞれ請負いました。工事の内容は、与板町

増え続ける医療費

大きい保険料負担

町の予算の中では一般会計のほかに国民健康保険特別会計も、生活と深くかかわりがあり家計への影響も少なくありません。この国民健康保険の新年度予算は、全体として前年度を二割あまり上回る二億二千七百九十三万

がために必要な資料となる。わたしたちの周囲には、このような資料が沢山山積みされています。これをつまらぬものだと捨ててしまおうこともたびたびあると思うのです。一片の紙切れと思っても、そこには貴重な事実が記されているのです。たとえ小さな紙くずと思っても、古文書やそれらしいものはぜひ町史編さん室にご提供いただき、皆さんの協力を特にお願ひ申し上げます。

一片の紙切れでも

今井玄雄

写真の古文書は、鳥越の山田権治右エ門さんからいただいたものです。その読み方は「兼て其の村方に携き立て之れ有り候段、申し出候。白米四拾六俵。其の村より明日直くに与板表・大小荷結方へ差し送り候様に致す可候。此の段申し決め候以上、関原出張事会計方。鳥越村庄屋。七月十九日」。内容は命令書であるが、この古文書より得る歴史的資料は大変に大きい。この古文書により次の事項を知ることができる。

小さく書かれていて、まだ武士が威張っていた時代の背景を伺い知ることができるとのこと。さらには、官軍がどんな経路で進軍してきたか。当時の村々はどういった味方をしていただかなど、世相の背後を知ることができるとのこと。



こんにちは 新しい保健婦です

四月から町の保健婦になりました丸山です。早く町の状況を知ら、皆様の健康のためにがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。(現住所は与板町上町、二児の母)

次のお知らせ 作業者の作業停止のお知らせ 四月二十五日正午から午後四時まで。▽瓜生、四月三十日午前九時から正午まで。▽鳥越のうらち後谷地区、五月七日午前九時から午後一時まで。



できあがった見事な「しめなわ」

春祭りだ、しめなわ作り

鳥越老人クラブ

この広報紙が届くころには、次々と各部落の春祭りが始まっています。この春祭りを前にした四月四日、鳥越の老人クラブ(渡辺儀源治会長)は、会員が力を合わせ一日がかりで作ったしめなわを村のお宮さんへ奉納しました。「こういうことは、若い者ではどうも……」と自慢するだけあって、出来栄はさすが。早速みんなで担いで鳥居に向いました。鳥越のお祭りは今月二十日に行われます。

の価額に応じて年利五割の機械損料とともに返済を行って、返済が終了後機械を取得できるという制度です。言い替えば、割賦、低利で機械設備の導入ができるという制度です。申し込み期限は特にありませんが、予定ワタに達し次第申し込みとなり、計画をお持ちの方は、産業界に問い合わせるなど、早めに手続きをおとりください。

お願いします

「緑の羽根」街頭募金 春の訪れとともに今年も「緑の羽根」街頭募金運動が今月いっぱい行われます。募金による基金は、家庭緑化、学校緑化、社会福祉施設の緑化、公園樹木など公共施設の緑化と生活環境の改善に大きな役割を果たします。さらに今年、米月二十二日に蓮花寺地内で「中越地方植樹祭」が行われることになっていて、記念すべき年にもあたります。みなさんのご理解をお願いします。

